

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

公表： 令和5年 3月 1日

事業所名 いきるちから3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			職員、一人一人の質の向上に努めている。得意分野を活かし、活動に取り入れている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動により順番を待つ場所などを明確化し、工夫している。視覚のサポートは実施していない。	引き続き、活動しやすい環境を整えていく。必要に応じて視覚でのサポートを取り入れていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		「お仕事」をする場所、身体を動かす場所、遊ぶ場所など、きちんと分かれている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		児発管、主任会議を毎月実施し、業務改善に向けて取り組んでいる。	業務改善を行い、全職員の共通理解ができるように取り組んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	11月開所のため、評価表で意向を確認中、今後改善につなげていく。	頂いたご意見をHPに公表し、改善に努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	11月開所のため、評価表で意向を確認中、今後改善につなげていく。	令和5年3月より、弊所ホームページにて掲載予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は予定をしていないが、必要に応じて取り入れていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回程度、テーマを決めて研修を実施している。	職員のスキルアップに繋げていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時に面談の機会を設けて、アセスメントシートをもとに聞き取りを行っている。	アセスメントの質を向上させていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたシートも使用し、年齢に応じたアセスメントシートも使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のお悩み相談を聞いて、優先すべき課題から支援内容を検討している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画を元に支援が行われている。	より適切に支援をするために、事前にスタッフ間で打ち合わせを行い、支援の質を高めていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ同士で提案して意見を出し合い、その日にくる子に応じて予定を立てている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ活動でも年齢に応じて内容にも工夫している。	職員の得意を活かしながら、色んな経験ができるような環境を整えていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別・集団共に児童の特性に合わせた、個別支援計画を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、ミーティングで話し、確認している。 注意が必要な点には話を深堀して共有している。	個々のより具体的な支援内容の打ち合わせを行うことで、支援の質を高めていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日・翌日にまとめている。 緊急度の高い重要事項はその日に共有し、改善策の話し合いをしている。	今後も、徹底して情報共有を行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日に記録に残すようにし、遅くとも翌日までは記録に残している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回の見直しを予定している。 年齢が低く変化が著しいため、必要に応じて見直しを検討している。	日々の変化や見直しの必要性を職員間で共有できる機会を作っていく。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		現在、サービス担当者会議の実施がない、今後機会があれば、柔軟に対応をする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		区役所からの問い合わせなど、その状況により対応を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要な子どもがいない。	状況に合わせて、柔軟に対応していきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	上記と同様。	上記と同様。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	お迎え時に様子を聞くことはあるが、移行支援としての実績はない。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	小学校に通う子どもおらず、直接やり取りしたことはなく、移行支援としての実績はない。	状況に合わせて、柔軟に対応していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所の職員との交流の機会もあり、情報共有をしている。 いきるちから123で合同研修を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		機会があれば、柔軟に対応していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		先月から、子ども部会に参加している	積極的に参加をしていき、情報共有など連携に努めていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時にその日の様子をお伝えし、保護者の不安ごとやお困りごとは職員で共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	送迎時にお会いした時、連絡帳でのやりとりなどで、保護者の方々の不安ごとやお困りごとへの相談等を行っている。	必要に応じて、検討していきたい。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	契約時の説明と共に、何か不明なことがあれば、いつでも仰ってくださいと、伝えている。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画は保護者に確認してもらい、同意を得た上で進めている。	確認してもらう際には書面と併せて、説明をしてわかりやすく伝えている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送り迎えの時に保護者の方と積極的にコミュニケーションをとるようにしている。 連絡帳や申し送りの際に悩みや相談に対する助言を行っている。	悩み事に対して傾聴し、適切な助言ができるように対応していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今のところ予定はしていないが、必要に応じて柔軟に対応していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があれば、その場で対応をするようにしているが、事柄によっては改めて時間を作り、丁寧に対応するようにしている。	職員間で確認すべきことは、一度持ち帰り、情報共有を行ってから改めてお話をするようにしている。 その際にも時間をかけず、迅速に対応するように心がけていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログを毎日、更新している。 ブログの内容に活動の意図やねらいなどを記している。 公式LINEアカウントで保護者に情報共有を行っている。	保護者にブログの周知を広めていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫に入れ保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別に視覚でサポートしながら伝えるなどの工夫はしている。 配慮が必要な保護者には個別に対応している。	一人一人の特性に応じて、柔軟な対応を心掛けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		必要に応じて、検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員には周知しているが、保護者への周知が出来ていない部分がある。 今後、想定訓練を実施したい。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	散歩などで歩行距離の把握、想定して避難経路を確認している。	今後は半年に一回の避難訓練を実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬・てんかん・アレルギー等契約時確認して周知、対策等を考えている。	服薬等が必要な児童を受け入れる際には、状況の確認の聞き取りを行い、対応していきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギーの対応は保護者に確認し、アレルギー源を排除する方法で対応している。	アレルギーに対する知識を深め、すぐに対応できるように方が一に備えておく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		現在、取り組みを進めており、スタッフとの共有をしている。 記録に残し、改善を試みる。	起きたことは記録に残し、次回の対策など、今後に繋がるような取り組みを行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	コンプライアンスを毎月、確認している。 今後、半年に一回の虐待についての研修を行っている。	研修を通して意識を高め、適切な対応方法を学び実践していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		やむを得ない身体拘束の説明は契約時に保護者に伝え、同意を得た上で対応している。	危険行動が続くようであれば、保護者に相談して、対応方法を検討していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。